

1 回生 必修教科「美術」授業のシラバス

教科名	美術	科目名		単位数	45	時間	
科目の目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を養う。 ○対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 ○造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ○美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。						
教科書	美術 1（光村図書）	副教材	美術資料（秀学社）				

1 学習の目標

- （１）対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- （２）自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- （３）楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 学習の方法

- （１）予習について
 - 基本的には必要ありません。
- （２）授業について
 - 絵・彫刻・工芸・デザインなどの表現活動では、必要な道具や用具の準備について、事前に連絡します。
 - 鉛筆はカッターを使って手で削れるようにしておきましょう。機械で鉛筆を削らずに、手を使って描きやすい太さに削れるようにしましょう。
- （３）復習について
 - 定期考査前には教科書・ワークシート・資料集をよく復習しましょう。

〈学習アドバイス〉

- 定期考査を行います。授業や実習等から学んだことについて、教科書・ワークシート・資料集から出題します。
- 完成した作品等を題材ごとに設定した評価基準に基づき評価します。

3 評価について

（１）評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点を理解し、表現方法を工夫して表すことができる。
②思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの造形的な美しさ、表現の工夫、機能美と働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方・感じ方を広げている。
③主体的に学習に取り組む態度	楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好し、心豊かな生活を創造していこうとする。

（２）評価の方法（以下観点①～③は「（１）評価の観点」と対応する）

観点	評価材料	定期 考査	単元 テスト	小 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノート	ワーク シート	討議				
①知識・技能		◎			○		◎			○					
②思考・判断・表現		◎			○		◎			○					
③主体的に学習に取り組む態度		◎			○		◎			◎	○				

〈担当者からのメッセージ〉

- 授業中の創造的な活動の全てが評価の対象になります。主体的に活動に取り組み、創意工夫しながら制作する姿勢を大切にしてください。
- 自然や美術作品、文化遺産などに関心を持ち、親しみを持って鑑賞する姿勢を持つようにしてください。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊 重の心	強くし なやか な心身	日本人 としての 誇り	多様性 の尊重
関心 ・意欲	問題 発見力	情報 収集力	論理的 思考力	共感的 態度	意見交換 ・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心を持ち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を探求することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることがなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さと健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画 ※【知識・技能】→①、【思考・判断・表現】→②、【主体的に学習に取り組む態度】→③

月	単元	学習内容	評価の観点	考查等	資質・能力
4	オリエンテーション(1)	美術の目標と授業内容について学習する。	③学習内容をしっかりと理解しようとしている。		AB
5	文字で楽しく伝える(9)	○日本語の基本書体(明朝体・ゴシック体)について理解し、レタリングの基本的な技能を身につける。 ○平面の絵文字を自由に構想しながらつくる。 ○文字のもつ意味と視覚的な形の可能性を探究し、見る人に強い印象を与える文字をデザインする。	①③日本語の基本書体について理解し、楽しく情報を伝える絵文字に関心をもっている。 ②文字の形や意味などから発想を自由に広げ、アイデア・スケッチに構想をまとめている。 ①②材料や用具の生かし方を考え、感情や必要な情報を伝える絵文字を美しく仕上げていく。 ②③友達の作品を鑑賞し、作品の意図や工夫した点を味わいながら鑑賞している。		ABI
6	色や光の特徴を知ろう(4)	○有彩色と無彩色や色の3属性など、色の仕組みを理解する。 ○光の3原色と色料の3原色を理解する。 ○対比の効果的な表現を理解する。 ○ポスターカラーで色相環を制作し、基本的な彩色の技術を身に付ける。	②③色の様々な性質に興味を持とうとしている。 ②色の対比や混色などの性質を資料や制作を通して、実感を持って感じ取っている。 ①用具の扱い方を理解し、効果的に活用している。		ABI AFHI
7					
8					
9	生活をいどる文様(12) 木製コースターの制作	○アイヌ文様をデザインする。 ○アイヌ文様独特の彫り方や、木に適した加工方法の基本を学ぶ。 ○機能性やかたちの美しさを意識しながら、身近な生活の中で使うものをつくる。	②③生活を美しくする工芸品に関心を持ち、木の魅力を感じ取ろうとしている。 ②用途や機能、使う人の気持ちを考えて構想を練り、アイデア・スケッチにあらわしている。 ①木材の性質を理解し、加工や塗装を美しく仕上げていく。 ②③作品を鑑賞し、用と美の調和や材料の特徴を生かした工芸のよさや美しさを味わっている。	1学期期末考查 (P34~35 P50~51, P61~63 他)	ABIL AFHI
10					
11	見つめ、感じ取り、描く(6) 言語	○自分の身近にあるものの中からモチーフを選び、スケッチする。 ○水彩絵の具による淡彩表現の基本的な技法を身に付ける。	②③モチーフの観察を通して感じたことを表現しようとしたり、質を高めようとしている。 ①材料や用具の生かし方を考え、自分なりの技法で工夫して表現している。 ②③友達の作品から視点や意図などを感じ、よさや美しさを味わいながら鑑賞している。		ABI AFHI
12					
1	自然の形や色を見つめて(6)	○身近な自然物や食品などの形や色を観察して、立体でつくり彩色する。 ○自分や友達の作品を鑑賞し、立体作品としてのよさや美しさを味わう。	②③身近にあるものを見つめ直し、特徴や美しさを感じ取ろうとしている。 ①モチーフの形や色、質感などを捉え、着色や細部の表現方法などを工夫している。 ②自然物のもつ形の特徴を立体に表現している。 ②③自分や友達の作品を鑑賞し、表現の工夫について話し合ったり、かたちのよさや美しさを味わっている。	2学期期末考查 (P20~21 P22~29, P59 他)	ABI AFHI
2					
3	特別展示室 風神雷神~受け継がれる日本の美(1) 屏風絵の制作(6) 言語	○「風神雷神図屏風」を鑑賞し、由来や図像の伝承・屏風絵など、自然を取り入れた日本の伝統的な美術について学ぶ。 ○日本美術において自然がどう描かれてきたかを、形や色彩、特徴から学ぶ。 ○「四季」を感じさせる作品を構想し、オリジナルの屏風絵をつくる。	②③日本美術の独自の美意識や創造性に関心を持とうとしている。 ②自然や季節の美しさから発想をふくらませ、アイデア・スケッチにあらわしている。 ①屏風制作の過程や技法を理解し、視覚的效果を考慮し美しく表現している。 ②③自分や友達の作品を鑑賞し、よさや美しさを味わっている。		ABIL AFHI